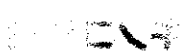

表紙絵／腰野文男

カメラの代わりに絵筆をにぎられて描かれたこの「カシタケ」は
記録画として、忠実に、正確に表されていますが、
その余白から、暖かみが伝わってくるのは、
腰野先生のお人柄、キノコへの愛情が
織り込まれているからではないでしょうか。
現在、恩師の小林卿先生から遺贈された、
キノコ画2,300枚の整理を始められたということです。
今回のカシタケのような千葉県内にまつわる昔ながらの「きのこ譚」や
楽しいエッセーをこれからもお願いします。

目　次

キノコ昔話 カシタケ 2
千葉でもトリフがとれています 4
日本最北限のきのこたち 5
きのこと甲虫 6
アンモニア菌の研究とおすすめブナ林 7
チャダイゴケの不思議 8
小林さんの講演を聞いた日に…… 10
長沼馬追でのキノコ観察会 12
菌類講座に参加して 14
幻の大宴会 15
春しめじを食した後の奇妙な体験 16
キノコの試食 16
ウラムラサキシメジを食べて顔が腫れた話 17
千葉県珍菌情報キヌガサタケとアンドンタケ 18
キヌガサタケ 19
98 今年のきのこ 20
わたしのキノコ外出メモ 1998年 22
1998年度観察会報告 24
談話会名簿 26